

11/5 火

## 子ども食堂「再開めどなし」半数

新型コロナウイルスの影響で、地域の子どもに無料か安価で食事を提供する「子ども食堂」の半数近くで開催のめどが立っていないことが、支援団体の調査で分かりました。担当者は「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。

NPO法人「全国いじもん会」は、地域の子どもに無料で食事を提供する「子ども食堂」の半数近くで開催のめどが立っていないことが、支援団体の調査で分かりました。担当者は「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。

### 支援団体調査

で、同様の調査を行った6月に比べ9・3倍増加しました。7～8月の感染再拡大が影響したとみられます。9月時点で開催したのは24・0%、10月から開催予定なのは6・1%でした。それによると、一堂に会しての子ども食堂の開催に踏み出すケースが多い」と回答した割合は48・0%

染防止の対応が難しい」が最多でした。「クラスターが発生すれば誰からも守ってもらえないのでは」といった不安の声があるといい、支援活動は弁当や食材の配布が主になっています。

アンケートをまとめたむすびえ理事の金池雄高さんは「子ども食堂は子どもたちがつながるための居場所。今後、クリスマスなどスポーツ開催の機会が増えりたいと思います。「感づくべき」と語っています。